

保育園自己評価総括

(令和3年度6月)

「子ども達 保護者 そして職員にとってもよかった～と思える保育園に」(入園式)

コロナ禍において、感染対策を中心とした様々な課題はありながらも職員の頑張りで、吉田保育園が子どもたちにとって安心できる居場所となるよう努めてもらっていることに改めて感謝いたします。

さて、職員にとっても働き甲斐のある環境の中で、子ども達に必要な保育やそれに必要な環境を整えて、課題を克服しながら業務(保育)に向かい合うことができることはとても大切なことです。その意味では、「保育士自己評価」と「給食従事者自己評価」のチェックリストをとおして、必要な振り返りをできたという思いです。

つきましては、個々の自己評価やその後の面談での内容を踏まえて、①業務(保育等)の質 ②業務(保育等)の量 ③職員間のコミュニケーション・協働 ④保護者とのコミュニケーション ⑤その他 のポイントについて、保育園全体の評価という視点で次のとおり総括をします。

① 業務の内容(質)

【現状・課題】

○こどもの主体性を育てるという点を抑えた保育の理解や実践また具体的な環境(人的・物的)という意味で、クラスごとや保育園全体の共通の認識をのちに行われるようすり合わせを進める必要がある。

- クラス単位や園単位でのケーススタディー(※)

【改善のポイント・方法】

※事例研究: 実際起きたことについて事例を検証し、よりよい方法を見つけていく

- 研修の充実(経験則だけでない保育指針沿った保育の理解をすすめる)、
- ケーススタディー、保育専門動画の視聴(40分程度)、
- コミュニケーション(風とおしの良さ)
- 集中して遊び込める環境づくり(未満児)
- 発展性のある遊びの機会の創出(以上児)

【現状・課題】

○情報の共有について課題: 特に年度替わりによる、クラスの引継ぎなどについて改善の必要性がある。

【改善のポイント・方法】

- 申送りの時間やポイントについて検討
- 園児情報の適宜蓄積。コドモンシステムの利用促進

② 業務の内容(量)

【現状・課題】

ンテーション機能など。

【現状・課題】

○良くも悪くも園児経由での園情報でクラス(担任やお友達等について)が保護者に伝わり、時には、誤解やトラブルを招くこともあることを踏まえていくことも必要です。

【改善の方法・ポイント】

- 保護者の対応にかかわる持ち物・お弁当については、保護者の姿や伝わり方も踏まえ、園児だけでなく保護者へも伝える
- 市役所やSNSではなく、直接気軽に疑問をたずねられるルートや雰囲気・関係性づくり
- 保護者とのトラブルについては、園長・主任が矢面にたって対応すること

⑤ その他

【現状・課題】

- 感染対策の面からも園児の健康管理・職員の健康管理はこれまで以上に具体的な対策や配慮が必要。
- 園環境についてもクラスや部署における整理・整頓・清掃・消毒は当然適切に行われなければなりません。その周辺の園環境においても職員全体の責任において、園児や職員はもちろんのこと保護者や外部関係者にも気持ちのよい状態が保たれていかなければなりません。そのことを踏まえ、部署やクラスを越えて職員全員で気持ちのよい環境づくり・維持していきましょう。

【改善の方法・ポイント】

- アルコール消毒ポイントの複数適所に設置
- 滅菌(おもちゃ用滅菌ボックス)や消毒のための器具を導入する。
- 職員の健康チェック表による体調の管理
- 園内において抗原検査を実施(必要に応じて)
- 部署・クラス内部以外のエントランスや出入口周辺のごく身近な環境を整理する。特に毎日登園・降園をするお部屋の出入り口までの動線部分の環境整備は得意大事。給食室は搬入口付近も。常に保護者を中心に見られている。場合によっては、その部分で保育の質を判断されることもあると考える。
- 廊下・ホール・外庭の通路共有部分については、クリーンデイによる管理も必要だが、ホコリ・ゴミ・雑草の除去は気づいた者でその都度する。
- 感染対策・衛生環境面はその都度評価を加え必要なことは実質していくこととする。

令和3年度吉田保育園自己評価 ～保育士～

評価基準

イ。よくできている(3点) ロ。ほぼ出来ている(2点) ハ。努力が必要(1点)

項目	評価	
【1 保育の理念・保育観】	2.2	
【2 保育の内容】	1) 保育計画・指導計画	1.9
	2) 乳児保育	2.4
	3) 3歳未満児保育(1・2歳児保育)	2.1
	4) 3歳以上児保育 ア.基礎的事項	2.1
	4) 3歳以上児保育 イ.健康	1.9
	4) 3歳以上児保育 ウ.人間関係	1.9
	4) 3歳以上児保育 エ.環境	1.7
	4) 3歳以上児保育 オ.言葉	2.1
	4) 3歳以上児保育 カ.表現	1.7
	5) 特別な配慮や支援を必要とする子ども(障害児)の保育	1.8
	6) 行事	1.8
	7) 延長保育・一時保育	2.0
【3 保健活動・安全管理】	2.1	
【4 保護者・地域社会・関係機関との連携】	1.9	
【5 地域の子育て支援】	1.8	
【6 保育園の職務・役割分担】	2.1	
【7 保育士としての資質向上(研修・研究活動)】	1.7	

※評価は、自己評価の平均値の小数点第二位を四捨五入した数値

令和3年度吉田保育園自己評価
～栄養士・調理員～

評価基準

1:よくできている(5点) 2:できている(4点) 3:少しできている(3点)
4:あまりできていない(2点) 5:できていない(1点)

項目		評価
1	保育所の理念、目指す子どもの姿に基づいた「食の計画」を作成しているか	2.0
2	調理員や栄養士の役割が明確になっているか	4.0
3	乳幼児期の発育・発達に応じた食事の提供になっているか	4.3
4	子どもの生活や心身の状況に合わせて食事が提供されているか	3.7
5	子どもの食事環境や食事の提供方法が適切か	4.0
6	保育所の日常生活において、「食」を感じる環境が整っているか	3.7
7	食育の活動や行事について、配慮がなされているか	3.7
8	食を通じた保護者への支援がなされているか	3.0
9	地域の保護者に対して、食育に関する支援ができているか	1.0
10	保育所と関係機関との連携がとれているか	1.7

※評価は、自己評価の平均値の小数点第二位を四捨五入した数値